

第 2 回 検 討 委 員 会 の 検 討 内 容

資料1

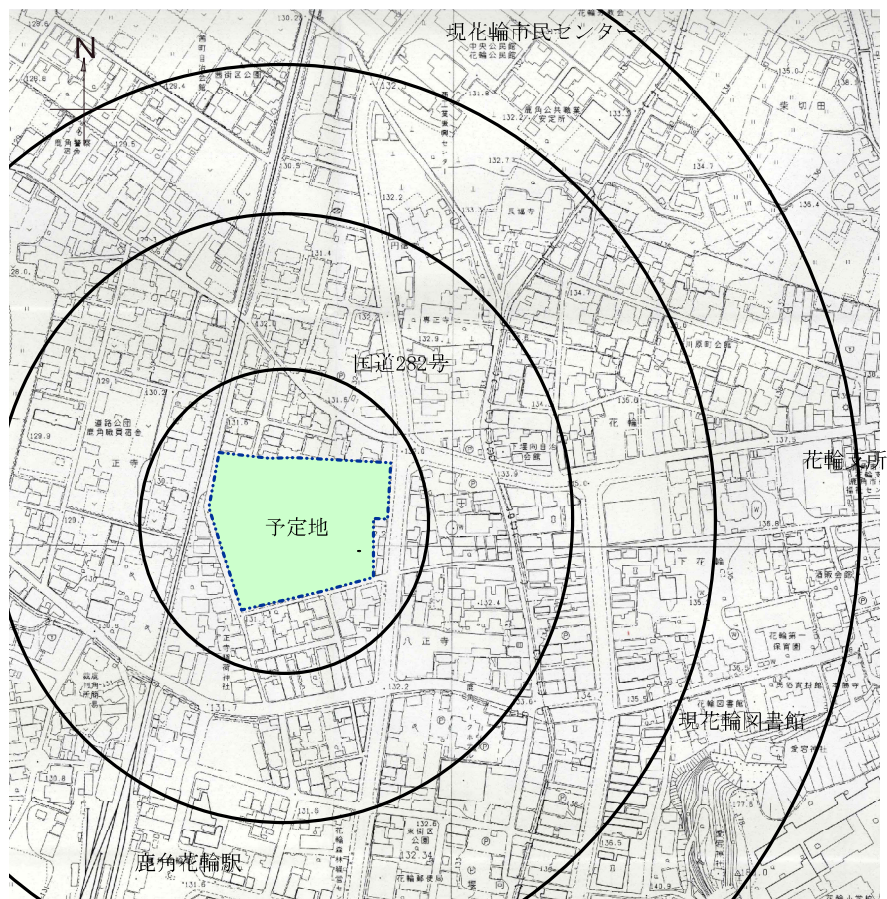
分類	内容	コメント	対応
複合施設 全体	利用者数の想定は？	図書館6万人、市民センター5～6万人、文化ホール2～3万人 計15万人 子育て支援、交流でプラスが見込まれる	第3回検討委員会の検討事項
	一方通行のアクセスでは危ない		
	花輪市民センターは年々利用者が増加している 工夫次第で人口は減っても利用は増やせる		
	防災拠点の考えは？	引き続き防災拠点となる見込み	
	人が集まるためには敷地内に店が必要	可能な範囲かと思う	
	テーマを持って造ることが重要		
	テーマを公募しては？	検討委員会で検討しては？	
	新施設が市民の応援を得ていかなければならない		
図書館	一般席を多くすべき	閲覧席は対象を限定せず館内全体で座席数を確保した	管理運営計画の検討事項
	児童スペースは椅子と座れる床どちらも必要		
	図書の電子化の想定をすべき	時代の流れに対応していく可変性のあるもの、という方針の前段で対応	
	インターネット利用が増えると思うが増設出来るのか？		
	蔵書のデジタル化は利便性が高まるので進めるべき 司書が居る学校図書館は利用が増えた 人のソフト面も考えていただきたい		
市民センター	中央公民館的な機能を持たせるのか？	それぞれの施設の位置づけ、仕組みは検討していかなければならない	第4回検討委員会の検討事項
	エレベーターの設置を	設置する 大きさ等については検討事項	
	市民センターが今のまま入るのか、いろいろな機能を考えながら新しい市民センターを想定しているのか？	機能について花輪地域づくり協議会内の意見集約中	
文化ホール	映画を上映出来る設備が欲しい	スクリーンは設けるが、投影機能については今後の検討	
	映画は人が集まるためにはぜひ必要		
	席数700の根拠は？	入場者が700名程度だった去年の鹿角音楽祭が根拠のひとつ	
	花輪のホールを使っている団体をみると600位で間に合う 小ホールが一番利用されるが、舞台のないリハーサル限定か？	リハーサルメインだが、簡単なステージのスペースは設けたい	
	MIT、交流センター等他のホールとの関係は？	大ホールが機能を果たすためにはリハーサルのための小ホールが必要 また、現在の市民センターの利用状況からも小ホールが必要	
	中途半端な大きさにならないように	一番活用されやすい、市民が使いやすいことが必要	
	施設の利用状況から小ホールはあった方がいい 天井が高めだと活用の幅が広がる 避難所としても必要		
子育て	移動するのは？	子育て支援センターとファミリーサポートセンター	
	遊戯室の区割り等の検討はこれからか？	実施設計の段階で検討	
交流広場	特に用事がなくても集える空間に	使われ方の想定をした上で設計することになる	
	充実した公園を		

G 立地条件の整理

1. 敷地の現況及び周辺環境

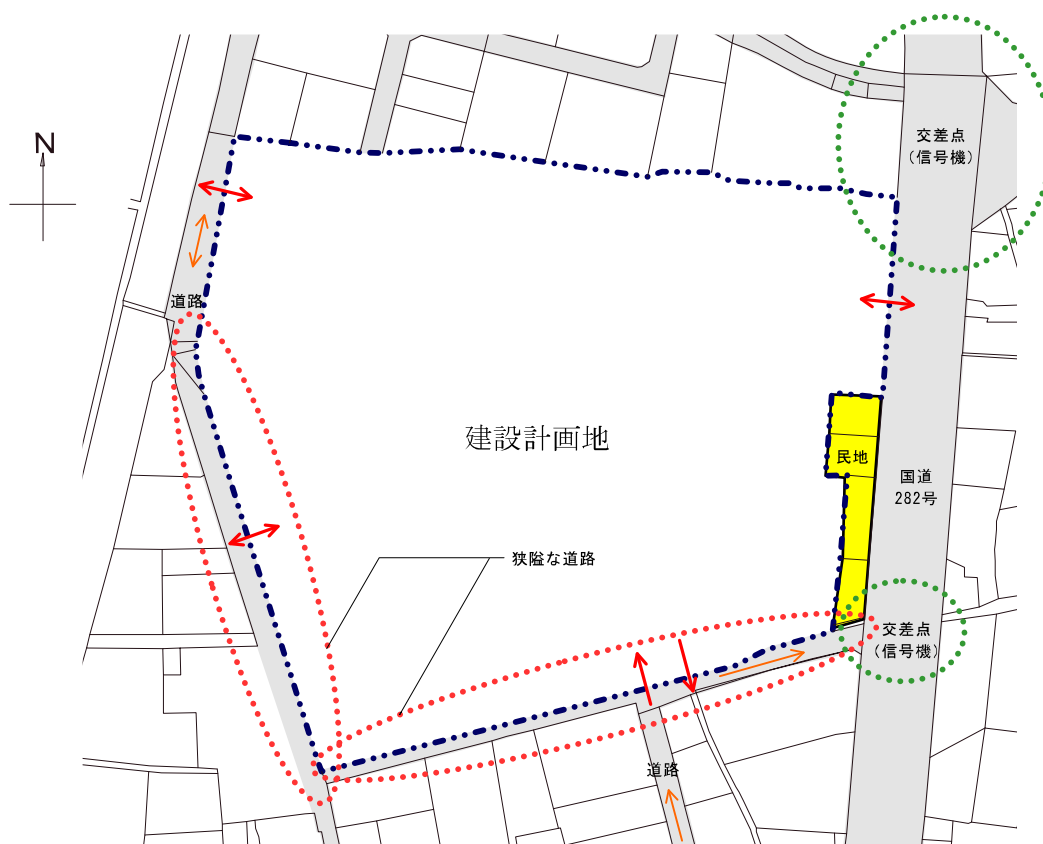
(仮称)学習文化交流施設の建設計画地である、現鹿角組合総合病院の敷地は、J R 鹿角花輪駅から北側に300mほどの市街地に位置している。

●建設計画地の位置



- 建設地の周辺には、導入される現花輪図書館、花輪市民センターのほか、花輪支所などの公益施設が点在している。
敷地周囲は住宅系の民家が多く、木造2階建てが過半を占めている。

●建設計画地



■特性

●道路条件

- ・敷地は3面が道路に面している。しかし南側、西側は狭隘で、一方通行の部分もある。
- ・東側は国道282号に面しているが、南東側部分は民地となっているため、接道部分は北東側となっている。
- ・車両の敷地へのアクセスは、現行と同様、南側道路、北西側、及び国道が想定される。
- ・歩行者についても、車両と同様のアクセスが想定される。

●高さ

- ・敷地と隣接する道路に極端な高低差はない。

●計画上の留意点

- ・国道からのアクセスには、北側の交差点との距離について留意する。
- ・南側道路は狭隘で一方通行であることを留意する。

H 施設計画

1. 配置平面について

敷地の立地条件・特性を基に、敷地の活用の基本的な考え方を下記の通りまとめた。
また、施設配置の位置のパターンについて特徴と長所、短所を検討した。

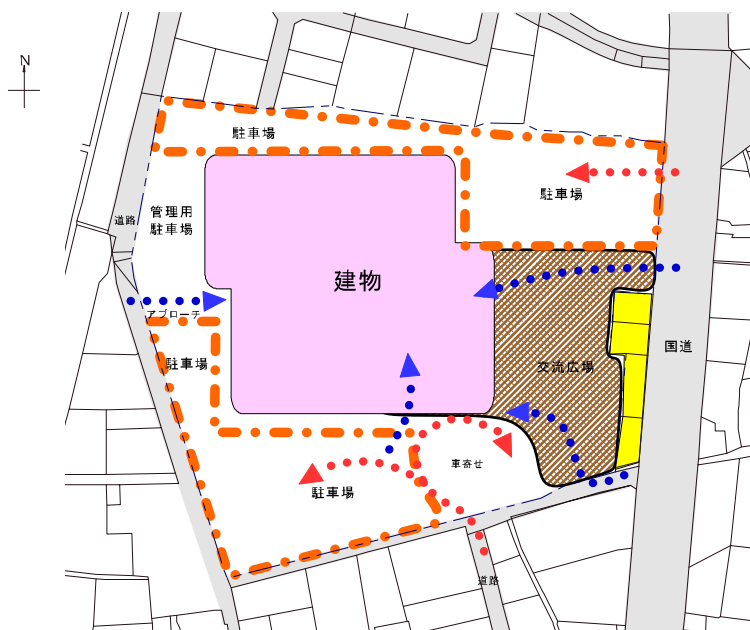
配置の基本的な考え方

- 都市景観・・・敷地に対しバランスのよい建物規模と、
緑や公園的空間に配慮する。
- ひとにやさしい空間・・・安心・安全な空間を実現する。
歩車分離を基本とした配置平面とする。
- 周辺への配慮・・・日影や騒音など、周辺に配慮する。

■配置位置案

(配置案・ゾーニング案は基本的なイメージを表現したものであり、
今後の基本設計以降で具現化されます。)

■配置パターンA・・・既存の市道を活用し建物を敷地のほぼ中央に配置した例



■特徴

- ・車、歩行者共に現在の病院へのアプローチを継承し、歩車分離を図る。
- ・国道からのアクセスに配慮し、駐車場を分散配置。
- ・日影に配慮し、北側部分は駐車場として利用。

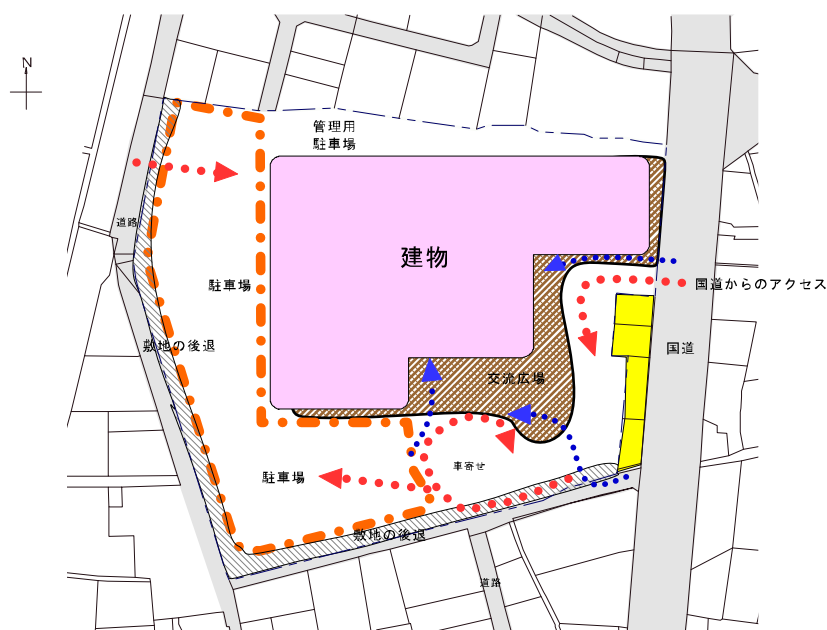
■長所

- ・都市景観・・・建物周囲に空間があり、建物と連続する広場を確保
- ・ひとにやさしい空間・・・歩車の動線は分離できる。
- ・周辺への配慮・・・北側住宅への離れも確保している。

■短所

- ・都市景観・・・駐車台数確保のため、広場以外の緑地の確保が困難。
- ・ひとにやさしい空間・・・問題なし。
- ・周辺への配慮・・・ホール具体的な高さの検討は必要。

■配置パターンB・・・建物を国道側に寄せ、国道側に新たなアクセス通路を配置した例



■特徴

- ・車、歩行者共に国道からのアクセスを新たに設ける。
- ・南側、西側は敷地後退させ道路を拡幅。
- ・国道側に建物を寄せることにより、街並みの連続感、賑わい感を創出。

■長所

- ・都市景観・・・国道沿いの街並み景観が形成しやすい。
- ・ひとにやさしい空間・・・国道側の歩車の動線は分離できる。
- ・周辺への配慮・・・北側住宅に対する車の騒音は少ない。

■短所

- ・都市景観・・・駐車台数確保のため、広場の確保が困難。
- ・ひとにやさしい空間・・・南側のアクセスは構内通路と交差する。
- ・周辺への配慮・・・北側に寄せると日影の問題がある。

■配置規模について

■階数について

F構成計画では、図書館、市民センターを1フロアー構成にするのが望ましいとしたイメージであったが、計画地に対する、建物規模、駐車台数の確保、交流広場の規模を合算すると、余裕のある配置ではない。

図書館、市民センターを複層階とした、断面・配置イメージを検討する。
尚、複層の場合の高さとしては、現在の病院と同等程度を想定し、3から4階とする。

■2階にした場合

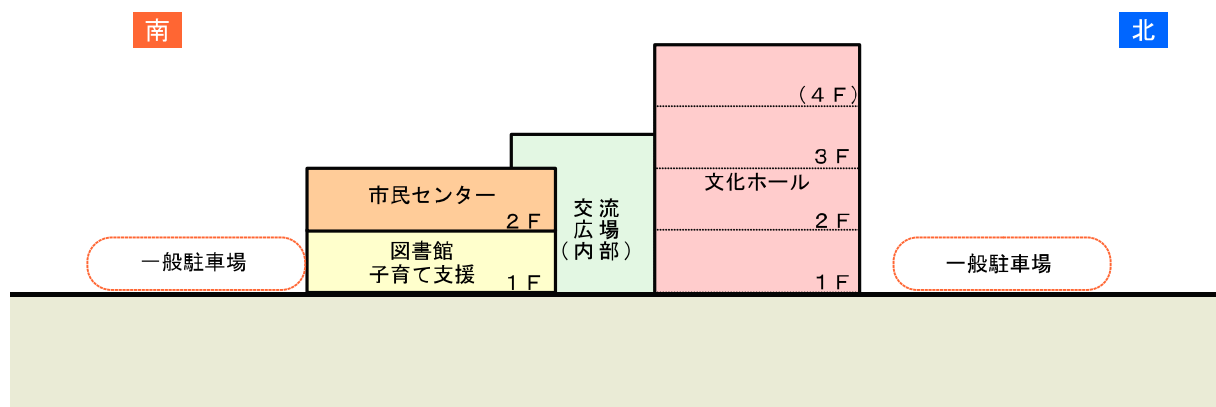
- ・建築面積 約4,500㎡・・・△
- ・図書館は1フロアの構成・・・○
- ・部門の繋がり・・・○
- ・交流広場・・・△
- ・駐車台数・・・150台～200台程度

■3～4階にした場合

- ・建築面積 約4,000㎡・・・△
- ・図書館は2フロアの構成・・・△
- ・部門の繋がり・・・△
- ・交流広場・・・○
- ・駐車台数・・・200台～250台程度

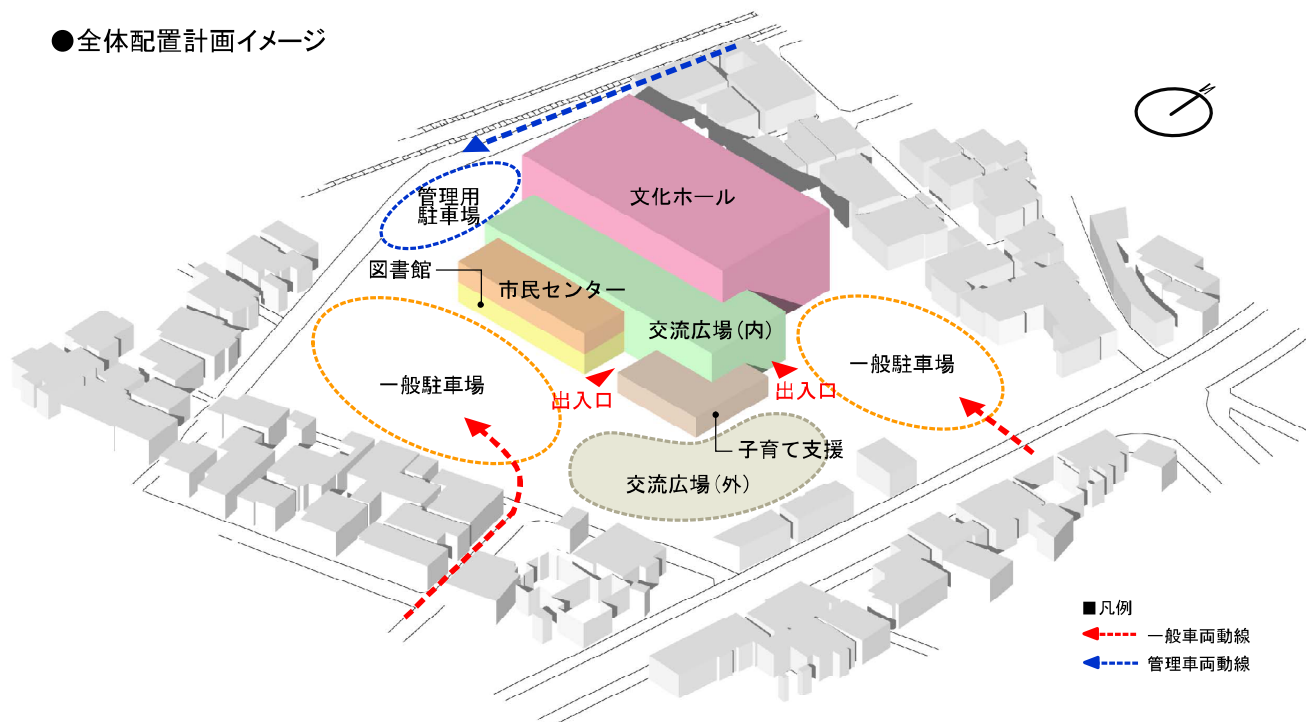
A 建物中央配置（階配置：ホール1F-4F、図書館1F、子育て支援1F、市民センター2F）

●断面計画イメージ



※外観はボリュームを示したものでデザイン等は今後の設計で検討します。

●全体配置計画イメージ



メリット

【建物構成】

・各階ゾーン毎に適正な面積空間を確保できる

【敷地状況】

・各施設との連携を重視

【車両動線】

・歩車分離が図れる

デメリット

【建物構成】

・施設の平面ボリュームが大きくなる

【敷地の状況】

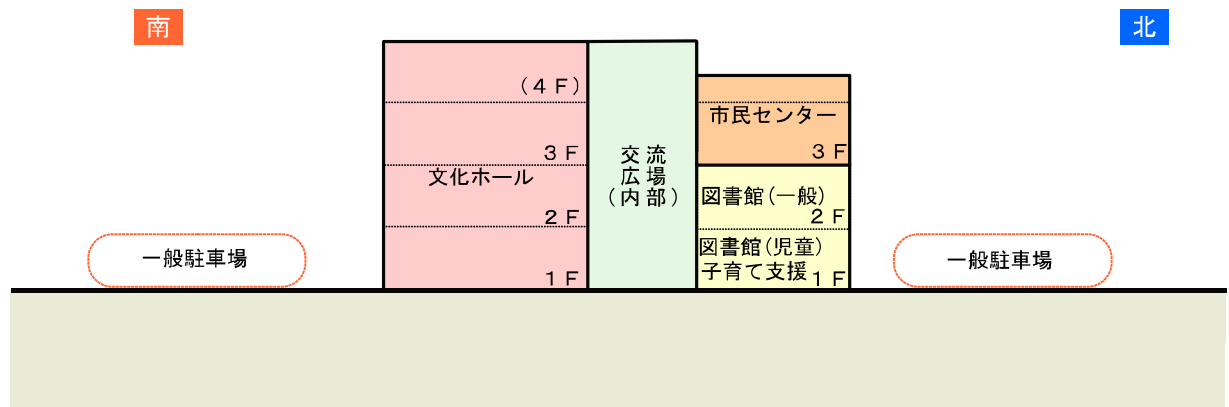
・駐車場や構内通路の十分な確保が難しい

【車両動線】

・来客駐車場の分散配置、十分な台数が確保できない

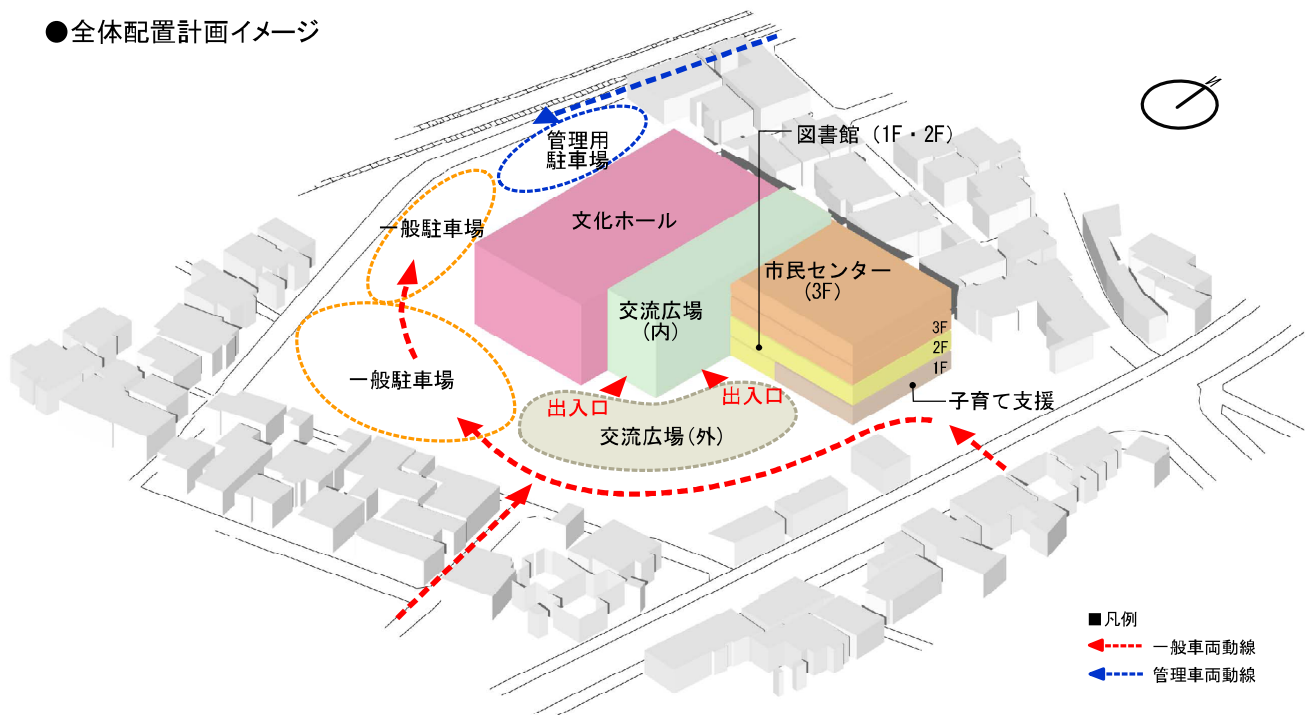
B 建物県道側配置（階配置：ホール1F-4F、図書館1・2F、市民センター3F、子育て支援1F）

●断面計画イメージ



※外観はボリュームを示したものでデザイン等は今後の設計で検討します。

●全体配置計画イメージ



メリット

- 【建物構成】
- ・コンパクトな施設構成
- 【敷地状況】
- ・十分な駐車場を確保できる
- 【車両動線】
- ・回遊性車両動線が確保できる

デメリット

- 【建物構成】
- ・図書館、市民センターの構成が二層毎に分割される
- ・上下階の連携に配慮する必要性あり
- ・日影の問題あり
- 【敷地の状況】
- ・回遊性構内通路により交流広場と国道側歩道が分離される
- 【車両動線】
- ・特になし

(仮称) 学習文化交流施設の市民センター機能に関わる意見書

施設、機能等	意見内容
多目的ホール	400人は収容できないと少ない。⇒600～700人収容との発表有
調理室	収納棚などのスペースを充分確保してほしい。
和室	100畳ほしい。(競技かるたの各種大会及び練習会場として) 茶室がほしい。(水屋・炉の位置など専門家のアドバイスを受け)
事務室	来客が話せるスペースをとってほしい。
創作室	水道設備を設置。(イメージ：ストーンサークルの縄文工房)
その他	各団体への貸しロッカーを確保してほしい。 ロビー・ホワイエに作品展示できるスペースを作ってほしい。 コミュニティラジオブースを設置してほしい。(狭くても可)⇒いつの日か、ラジオ開局を！！ パネル等の収納場所が不可欠。 エレベーターはパネルの運搬ができるサイズに。 現在の市民センター部屋数で不足しているのだから、部屋数を増やした方がよい。 暖房設備は各室で調節できるものにしてほしい。
運営に関わる懸案事項	市民センターの管理・運営を地域づくり協議会に委託する場合、大ホール・小ホールの管理も一緒に任せてもらいたい。現センターのホール機能が小ホールに移ると考えられる。併せての管理を任されたほうが合理的。また、一緒にないと、文化祭の実施等が難しくなる。
施設全体に関して	市内の他の施設と同様の施設と重なる可能性が大。役割分担をして、情報を共有できるように。 生涯学習のコンシェルジュ的役割が求められる。市の中心施設として、他の施設と連携をとって情報管理ができるようにしてほしい。 子育て支援センターの機能は不要ではないか？ 地元の設計者を使って、雪や風の通り道など自然環境を活かした建物を建ててほしい。